

創刊四十周年
記念誌

目次

お祝いのことば

(財)日本サイクリング協会 会長 柳井 孟士

サイクリング協会創立四十周年によせて

埼玉県サイクリング協会 会長 浜田卓二郎

創立四十周年を祝して

埼玉県知事

埼玉県サイクリング協会発足40周年を祝して

秩父市長・秩父広域市町村圏組合管理者

四十周年記念誌発刊に寄せて

関東甲信越サイクリング協議会 会長 斎藤 昇

明日へ向け輝かしい発展を期待して

東京サイクリング協会 副会長 鈴木 茂夫

埼玉県サイクリング協会創立四十周年

新潟県サイクリング協会 会長 行田 宏

自転車と友に四十年

栃木県サイクリング協会 理事長 大嶋 寛

協会創立四十周年を迎えるにあたって「期待と不安に」

埼玉県サイクリング協会 副会長 杉山 弘

協会四十周年をふりかえって

埼玉県サイクリング協会 理事長 渡邊 廣次

SCA会員として

埼玉県サイクリング協会 監事 内藤 武子

インターナショナルチャレンジサイクリング大会を実施して

大会実技委員長

渡邊 廣次

ツール・ド・秩父大会を通じて秩父リゾートのイメージアップを

秩父広域市町村圏組合新興課

森 慎太郎

SCA四十年のあゆみ

加盟クラブ一覧

：
：
：
：
：
：
：
：
：
：



お祝いのことば

(財)日本サイクリング協会

会長 柳井 孟士

創立四十周年を迎えられた埼玉県サイクリング協会に心よりお祝い申し上げます。

この四十年という長い年月を協会役員はじめ、関係者の方々が一丸となつてサイクリング活動が続けてこられたことは、皆様の情熱とサイクリングに対する誇りと自信に満ちた行動の表れと心から敬意を表するものであります。

ご承知のとおり、近年週休2日制の普及や学校の隔週5日制の実施に伴い、国民の生涯スポーツに対する関心は一段と高まっております。

スポーツやリクリエーション活動は、休養や気晴らしとしてでなくライフスタイルの中で、仕事と同じ比重を持つほど大切なものになりつつあると思います。

このような時代にあつて、サイクリングは誰にでも親しまれ、仲間とのふれあいを通じて精神的な充実感や感動をおぼえることができるなど、人々の生活に潤いを与え、明るく豊かな生活や、地域社会の活性化を図るために果たす役割は大きいものと思われまします。

私たちは、二十一世紀に向けて今後ますます社会から期待されるサイクリング活動をどのように展開していくか、その使命は重大だと思ひます。

貴協会におかれましても、地域社会の有益な存在として、より一層の活動をされんことを願ひ、ますますのご発展をお祈り申し上げお祝いのことばといたします。



サイクリング協会創立四十周年によせて

埼玉県サイクリング協会

会 長 浜 田 卓 二 郎

私は小学生の頃、初めて自転車に乗る時にした苦労を今でも憶えています。

何度もころんで膝を擦りむいて、二つの輪でバランスをはたしてとれるのかと疑問を持ったものでした。それだけに乗りこなせた時の喜びは大きくそれ以来、自転車少年でした。これほど、自分の力で速く、遠くまで走れるという実感を与えてくれるマシーンは他にないのではないかと思います。

スポーツレクリエーションとしてのサイクリングの魅力、喜びはこの素朴な喜びの延長線上のものであり、サイクリング協会の目的はこの喜びをできるだけ多くの人々と共用しようとするところにあると思います。

私を会長に推薦して下さった亡き星野前理事長をはじめとする先人の皆様、そして渡邊理事長をはじめとする現執行部の皆様に素晴らしいサイクリング協会の四十年の歴史を作って下さったことに心からの敬意と感謝を捧げます。

私も微力で十分役に立っていないという反省ばかりしていますが、この節目の時を会長として迎えられたことを大変光栄に思っています。

ツール・ド・秩父をはじめ多くの行事に成功し実績をあげてきましたが、今後さらに力を合わせて五十年の歴史を目指して頑張っていきたいと思っています。



創立四十周年を祝して

埼玉県知事

土屋 義彦

昭和三十一年、十月、県内サイクリストの期待を一心に集め、埼玉県サイクリング協会が創立され、ここに四十年周年を迎えられたことを、心からお喜び申しあげますとともに、現在に至るまでの関係各位の一方ならぬ御熱意と御協力に対し、心から敬意を表します。

貴協会におかれましては、サイクリングの普及発展と会員相互の友情を深めることなどを目的に地域に根ざした多様な活動を展開され「ツール・ド・秩父」などのサイクリング事業を通じて、県民の健全な身体と精神を培うとともに、青少年の健全育成に対して絶大なる御尽力をいただいておりますことに深く感謝を申し上げます。

さて、豊かな「彩の国」を実現するうえで、さいたまの明日を担う人づくりは県政の最重要課題であります。私は、「彩の国づくりマリンセミナー」、「彩の国子どもフォーラム」などの事業を実施し、皆様方の御協力をいただきながら、心豊かな自立生に富んだ青少年の育成に全力をあげて取り組んでいるところでございます。

また、若さと活力あふれた六百八十万県民を擁する本県は「さいたま新都心」や「県営スタジアム（仮称）」など、二十一世紀を彩るビッグプロジェクトが着々と進み、輝かし未来に向けて、新たな出発の時を迎えております。私は、こうした時こそ、現状に安ずることなく常に「改革」の気持ちを持ち、「輝かしい彩の国づくり」に当たって参ろうと決意を新たにしております。

どうか皆様方には、今回四十年周年を、二十一世紀に向けた新たな出発と位置づけ、サイクリングを通じた青少年健全育成に一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

重ねて、埼玉県サイクリング協会の創立四十周年をお喜び申し上げますとともに、貴協会の限らない御発展を心から祈念いたしまして、私のお祝い言葉とさせていただきます。



埼玉県サイクリング協会

発足四十周年を祝して

秩父市長

秩父広域市町村圏組合管理者 内田 全一

埼玉県サイクリング協会が発足して今年で40周年とのことで、誠におめでとうございます。特に、貴協会は平成元年度から秩父リゾート地域を舞台に始めました、インターナショナル・サイレンジ・サイクリング『ツール・ド・秩父』の開催、実施に当たり格別の御尽力をいただいております。

この大会も、現在では首都圏を中心に1,500人を超える参加者を数えており、全国5大ツールのひとつまで成長いたしました。これもひとえに貴協会をはじめとする関係団体の御協力の賜ものと深く感謝申し上げます。

このイベントを始める当時は、秩父地域でもリゾート法の指定を受けリゾート整備に着手する段階で、秩父リゾートをPRするためのイベントを模索していました。その時に、本大会の開催の話を持ち込まれ是非、秩父地域で実施していただければということをお願いしましたところ、快く引き受けていただき開催の運びとなりました。

第1回目の大会の参加者は400人弱でしたので、今日のような秩父リゾートを代表するビッグイベントになるとは思いませんでした。

ところで、平成7年度には貴協会や(財)日本サイクリング協会の御指導、御協力により、秩父リゾート地域に10コースのサイクリングコースを設定し、それをマップにおとした『秩父サイクリングコースマップ』を製作しました。このマップも大変好評を博しております。

今後、余暇時間の増大が見込まれる中で、身近で手軽な自転車を使つてのサイクリングやサイクルスポーツは年々盛んになると思われまふ。緑と清流に恵まれた秩父リゾート地域は、まさにサイクリングに適した地域であると思ひますので、貴協会の御指導をいただきながらサイクリングのメッカになるよう努めて参りたいと思ひます。結びに、貴協会の益々の御発展を御祈念いたしましたしましてお祝いのあいさつといたします。

明日へ向け輝かしい発展を期待して

會長 齋藤昇

東京サイクリング協会
副会長 鈴木茂夫

埼玉県サイクリング協会創立四十周年をお祝い申し上げます。戦後の日本が成長発展し始めた時期に貴協会も誕生、着実な歩を重ねてこられました。初代理事長・故星野清氏は、協会の基礎を固め、三十年に亘って、埼玉のサイクリストの指導育成に貢献されました。その跡を受け継ぎ、現理事長・渡邊廣次氏は、新たな展望のもとに、新機軸を打ち出しておられます。その最大なるものは、秩父の山々を駆けめぐるイン・ル・ド・秩父です。すでに八回開催され、世界的な名声を確率されています。秩父の峠道は埼玉のサイクリストの故郷であるでしょう。九五年秋、秩父を中心としたサイクリングコースマップを完成されました。これは多様なサイクリングを楽しむ手引きとして素晴らしいものです。一方で、情報化時代に対応しコンピュータネットワークを構築されて、迅速多様な情報を会員に提供されています。その多彩な活動に深い敬意を表したいと存じます。昔、武蔵野国の中心は大宮でありました。武蔵一宮の水川神社がその揺るぎない証です。江戸に幕府が置かれ、江戸が東京となり首都となっても、東京と埼玉は深い絆で結ばれています。私くしたち東京のサイクリストにとつて、埼玉は実に親しい隣人であります。これまでも、多くの行事で交流してきましたし、これからもまた、その交わりの輪は広がってゆくでしょう。明日に向かって力強く走り続ける埼玉県サイクリング協会の、輝かしい発展を期待して止みません。

埼玉県サイクリング協会創立四十周年

新潟県サイクリング協会
会長 行田 宏

埼玉県協会の創立四十周年に際し、心よりお祝い申し上げます。貴協会におかれましては、自然に恵まれたフィールドや、今年で八回目を迎えるサイクリングマッパルの定や、サイクリングの企画運営、実践を重ね、代表されレズンサイクリングの「Tour de Chichibu」に代表される多様なサイクリングの企画運営、実践を重ね、代表され敬意を表します。活動のリーダーシップとそれを支えた卓越した浜田会長のリーダーシップとそれを支えたスッパの皆さん、努力によって、今日のような二つの組織が育てられ、存じます。今日のような生は、多岐にわたる年齢化社会に向けて、サイクリングの果たす役割は、大きなものがあると思います。これからの共によさう。貴協会のますますの弥栄をお祈り申し上げます。



19世紀の終わりごろヨーロッパで発明された一輪車

自転車と友に四十年

栃木県サイクリング協会
理事長 大嶋 寛

小学校入学の時、子供用の自転車を買ってもらった。その頃はまだほとんどが大人用のものしかなく、子供達には、三角乗りをして、土曜の午後、友達と栃木市にある大平山まで何度か行った。途中の県道は砂利道、そして標高三百メートルの神社まで押して上がった。それから、二台の自転車、自宅と駅と学校がとて遠かった。から、四年と少々、少しづつができたわけではないが、突然の東北、北海道一周の四ヶ月間の旅にでた。(初めてのラブルギヤ付きのドロップハンドルの自転車)で、大したトめ、時間がなく、約六千キロメートルを走った。又会社勤めで、時間がなく、約六千キロメートルを走った。又会社勤であつた。主にまだ行っていない中部より西日本地区を、特急を利用して走った。このころより県協会に入会し、手伝いをして始めた。このころより県協会に入会し、三十才を過ぎて初めての海外ツアー。ほんの少しだけ、中国を走った。この時、貴協会の故星野清氏の出会い。そして、今、現在の役職を受け、早八年目を迎えた。会社でも、自転車人間で通るようになった。ただ残念なのは、他人を走らせる立場になり、自分で走る時間がほとんどないことである。早く定年になり、若い頃走った道をもう一度辿ってみたいと思う。年代になつてしまった。四十年、自分史的なことになってしまったが、貴協会と同じ、全国に多くの友が、できたことが、人生最大の宝物であると思ひ。何はともあれ、これから貴協会との長い長い付き合いをお願いして終わりにしたいと思います。

協会四十周年をふりかえって

埼玉県サイクリング協会
理事長 渡 邊 廣 次

当協会が創立四十周年を迎えることは、誠に嬉しいことである。四十年という歳月はかなり重い年月である。振り返ってみれば我が人生のかなりの部分を占めている協会とのつき合いでもある。

昭和三十一年の十月二十日、熱意ある県内のサイクリスト達によって埼玉県サイクリング協会が設立された。初代会長として故福永健司氏を迎え役員はそうそうたるメンバーであり、加入クラブは川口サイクリング連盟、浦和サイクリングクラブ、浦和サイクリング協会、大宮サイクリングクラブ、川越サイクリングクラブ、北本宿サイクリングクラブ、行田サイクリングクラブ、狭山サイクリングクラブ等であった。昭和三十二年第一回県内サイクルスト大会を大宮公園にて開催する。又わが国最初の全国ラリーが静岡県浜名湖にて実施され本県から数名が参加、まずまずのスタートをきった。

昭和三十四年、二代目会長として相川曹司氏を迎える一方、機関誌「むさしの」が発刊されている。また第一回SCAラリーが正丸峠を主会場として開催された。昭和三十五年、第一回関東サイクリングラリーが本県の主管で企画したが、生憎の台風で散々な目にあった。昭和三十六年には加盟クラブの解散が相次いだが新興クラブの参入があり、どうにか持ちこたえることができた。昭和三十七年にはサイクリスト顕彰が制定されている。昭和三十九年、JCAの法人化が認可され、サイクリングの普及指導の核ができたことは意義深いことである。

昭和四十年は「協会のしおり」の作成や第一回県民サイクリングの集いが鎌北湖にて開催されている。昭和四十一年、国鉄(現JR)初のサイクリング列車が大阪で運行されている。昭和四十二年にはサイクリング相談の店の認定がスタート。また四十三年にはJCA指導者制度が施行され、自転車環境の整備と指導者の育成がおこなわれた。昭和四十四年には今は当たり前になった自転車の車内持ち込みが認可され、行動範囲は一挙に広がり、会員も増加の一途をたどった。

昭和四十五年四月「自転車道路の整備等に関する法律」が施行され、本格的な自転車専用道路の建設が促進されたことは大きな礎となった。

昭和四十八年、第十七回全国サイクリングラリーの主管と翌四十九年の第十回関東申信越サイクリングラリーの主管は協会の一段の飛躍の引き金となった一方、多くのリーダーが協会を離れていく事態も招いた。

このころサイクルOL(オリエンテーリング)が盛んにおこなわれるようになり、第一回大会を東松山で実施し、全国大会も御前崎にて開催され、協会から選手を派遣し好成績をあげた。当初事務局は星野清宅、あるいは県自転車組合に依存していたが、昭和五十年から現埼玉県青少年会館に事務局を構えることができたことはこれまでの実績が認められた成果といえよう。

昭和五十一年には創立二十周年記念式典を市民体育館で挙行し、名実ともに充実に突入した。昭和五十二年にはSCAクラブラリーとマップラリーディングがスタートした。また第二回女性サイクリストの集いが人間で開催された。昭和五十三、交通遺児交通安全キャンペーンサイクリングや、昭和五十四年には輪行マナー認定委員養成講習会などの珍しいサイクリング事業も企画されている。

昭和五十六年には三代目会長として若きホープ浜田卓二郎氏を迎え、第一回SCA支部ラリーなどを行っている。さらに自転車車の御殿として「自転車文化センター」が開所されている。今では協会にはなくてはならないアマチュア無線の講習会や救急法講習会がこの年初めて行われた。11月には第35回全国レクリエーション大会及び第17回関東申信越サイクリングラリー埼玉大会が東松山を会場として展開、2回目のブロックラリー主管も成功の内に終了した。

昭和五十七年には協会の活動が認められ日本生命財団から助成金をいただきテントなどの野外用品を購入し今日まで有効に使われている。昭和五十八、第17回埼玉県青年海外派遣の本部員として渡邊副理事長が選ばれ、ドイツ・フランスの青少年施設の見学や青年達と交流を深める一方、ドイツではホームステイなどの体験をした。

昭和五十九年の10月20日には協会創立記念日のつどいが開催され、バザーが行われた。昭和六十年には浦和と姉妹都市である福島県南郷村と浦和間を走るチャレンジサイクリングの第一回目が開催され、この事業は10回まで毎年継続されて行われた。

昭和六十一年協会創立30周年を記念して「埼玉ポイント30」が企画

され、県内の30ポイントを設定してサイクリングをしてもらった。また記念祝賀会が大宮サンパレスで開催され、多くの方からお祝いの言葉をいただいた。六十二年には2代目理事長として渡邊廣次が就任、新体制がスタートした。また埼玉博覧会の開催を記念して、青年会議所が主催してツール・ド・サイタマが行われ、協会も協力して大会の成功に役かった。

平成元年にはビッグイベントとなったインターナショナルチャレンジサイクリングハッセル・ド・秩父Vがスタートしている。このことについては別紙記事をご覧下さい。平成三年8月には第13回SCAクラブラリーがわかばCCの主管により初めて県外の新潟県十日町枯木又で行われた。平成四年、川口オートレース場にて第1回サイクルフェスタIN川口を開催、これも協会行事としてすっかり定着している。平成五年にはマンテンバイクの普及にともない、遊び場づくりの一環として秩父ミュージズパークでマウンテンバイク大会を開催したが、その後よいゲレンデに恵まれず2回の大会で終了せざるをえなかったのは心残りであった。平成六年には第16回SCAクラブラリーが再び新潟県六日町で開催された。

平成七年にはセンチリーランが10回目を迎え、毎回参加者が増加の一步をたどっている。そして今年創立四十周年を迎えた。記念事業を多く開催する予定でもあったが、すでに恒例イベントが多く、関東甲信越ブロックサイクリング大会の主管とサイクリストの集い、記念祝賀会を行い今日に至っている。

一言に四十年といってもそれはとてつもなく長い期間であり、単なる趣味の団体がここまで続いていることは不思議なくらいだ。長い間には会員間や関係諸団体とのトラブルがあったが、築きあげられた信頼と実績は自慢できるものである。

今後協会はサイクリストの単なる趣味の団体としての活動だけでなく、広く世の中の人のために役立つことを一つでもいいから実践していきたいと思う。自転車文化の偉大さと現状の交通戦争のギャップを埋めるためにも。

SCA 会員として

埼玉県サイクリング協会
監事 内藤 武子

創立四十周年を迎えるにあたり埼玉県サイクリング協会と私の出会いは七年前になります。その年の3月で前任者が辞めるため事務局執務員募集があり、私が引き継いだことが始まりでした。当初二ヶ年を事務担当で過ごし、その後は監査のお役をいただいていた今日に至っています。

この年月の間に、SCA主催の年度事業に実行役員の一人として連なり手伝ってきました。渡邊理事長はじめ各役員のサイクリングに対する熱の入れ方また一生懸命さに感心し、私自身は技術面は分かりませんが楽しく協力させていただいているというのが本音です。

一つの行事を開催する時、理事長を中心に各担当者や事務局は当日までの準備に始まり行事終了まで細かい配慮がありますが、決して多くはないスタッフが公私の多忙を返上して取り組む姿は、本当にサイクリングが大好きで、他に替えがたいものなのだと物語っているようにも見えます。

さて開催日となり、走りたくてウズウズしている出走者を私たちが励まし応援し、ゴールした彼らから聞く「楽しかった。ありがとう」の交換は気持ちのいいものです。そうした参加者が満喫した光景を目の当たりにしたことも少なくありません。

このようなSCA主催の行事を通して、健全な余暇スポーツが普及し、大勢のサイクリング愛好者が増えること、強いては会員登録に繋がることは望ましいことです。事実、こうした大会終了後に一般参加者の中から登録申込の希望の声を聞くと、会員数を計る側としての私は嬉しくなり対応してきました。

インターナショナルチャレンジサイクリング へツール・ド・秩父〉を実施して

実技委員長 渡邊廣次

平成元年の車中でJCA木根原稔専務とサイクリング愛好家が気楽に参加できる草レースみたいなものが開催できないものかな。という話のなかで町おこしの為にサイクリング大会が開催できたらと、以前全国サイクリングラリーを行った秩父を候補として早速企画案を立てた。

S C A総会にて承認を受け、その足で埼玉県企画財政部地域整備推進課を訪れた。心よく引き受けていただき、秩父リゾート地域推進協議会（推進協）を紹介してもらった。6月の推進協の総会において、事業の概要を説明したが、当初考えていた八丁峠コースの使用には難色を示した。その後警察や地元との綿密なコース調査が再三行われた。協会としては交通量やコース管理を考えると八丁峠を入れたコースが最適であるの設定で望んだが、2転3転して最後は定峰コース（丸山林道）で開催されることになった。これには当時の埼玉県警察本部（県警）村山交通部長さんをはじめとする交通規制課、秩父警察署、秩父各市町村の温かいご支援があったものと感謝している。

早速、ポスターの印刷や要項の作成が始まった。補助金も県、推進協、J C Aからの取付ができません。スタートをきった。しかしながら協賛がなかなかうまくいかず、知り合いを訪ねやつの思い出で寄付を戴いたときは付き合ひの大切さを身にしてみた。

すべてが順調に進んだが、参加者が思うように集まらず、県・推進協との3者会談が行われ、協会の対応の悪さが指摘された。協会はいくまでもボランティアであり、仕事の合間をぬっての仕事なので限界もあることを力説した。とりあえず毎日午後7時までの開局、ダイレクトメールの発送、電話での要請、サイクリングコースでの勧誘とてんでこまいの日々がつづいた。さらに秩父市長さんを始めとする推進協の熱いご支援により、参加者も増え390名近くまで達した。

コカコーラやそごうのご支援もあり、大会気分は徐々に盛り上が

っていった。それにともないゼッケン、プレート、横断幕の準備など次から次へ仕事が湧き出てきた。さらに大会参加者のデータの入力や推進協との打ち合わせで連日遅くまで作業を続け、不安の内に大会当日を迎えることになった。

開会式は10月21日、秩父セメント（現小野田秩父セメント）の体育館にて開催、寒さが身にしみる夜であった。翌22日は会場を秩父ミューズパークに移して大会を開催。オープニング間際のカイロードを利用してスタートし、チャレンジコース（120 Km）とリゾートコース（60 Km）にチャレンジした。幸い天候にも恵まれ大したトラブルもなく終了できたのは、関係各位の温かいご支援のたまものと感謝している。

大会終了後の処理も大変で決算報告を12月25日に出すことで、イブの夜は遅くまで会計処理をし、その足で秩父に出かけたことが、昨日のように思い出される。心身ともに疲れはてた第1回目の大会であった。

大会を通じ感じたことは協会の出来る範囲は知れたもの、地元の全面的な支援がないと今後進めていくのは難しいとの判断により、2回目からは推進協のさらなる支援をお願いした。

第2回大会はじばさんセンター前からのスタートになりチャレンジコース、リゾートコースの2コースに加えてファミリーコースを加え900名余りで実施した。第3回大会からは再びミューズパークに移して実施したが、台風遭遇し、チャレンジコースのコース変更を余儀なくされたり、第4回大会では丸山林道で事故が相次ぎ、警察の指導により第5回大会からは丸山林道コースが廃止された。しかし参加者の中には120 Kmコース復活を望む声が多く、警察との協議の結果5回大会が、事故もなくスムーズに大会運営が行われていた実績からコース延長が認められ、第6回大会からリゾートコースに80 Kmが加わり、バラエティに富んだコースが設定できた。

大会終了後の反省にもとづき、運営委員会、実行委員会、大会事務局などの改革なども行われ、総務は秩父に、実技はサイクリング協会が分担することになり、お互いの連携プレイを保ちつつ大会実施にのぞんでいる。

大会ごとに人数も増加し第8回大会（平成8年実施）は1700名の参加があった。今後地域活性化を考えれば増員はやぶさかではないが、人数が増えればそれなりの対応が必要になり、単に参加人数を増やすことは、大会の運営に支障をきたすこともなることを危惧せざるをえない。しかしながら、こうしてはじめて小さな手づくり大会が大きく成長し日本5大サイクルイベントとして秩父に定着したことは感無量である。

最後に本事業を進めるあたり、ご支援ご協力をいただいている埼玉県、秩父リゾート地域推進協議会、秩父広域市町村圏組合、秩父開発機構、秩父郡市、（財）日本サクリング協会、埼玉県サイクリング協会、埼玉県自転車・軽自動車組合をはじめとする多くの方に紙面をおかりしてお礼申し上げます。



事故ではありません、警察立会いによるコース調査

特別寄稿へ政策研究より抜粋

ツール・ド・秩父大会を通じて秩父リゾートのイメージアップを

秩父広域市町村圏組合

振興課 森 慎太郎

はじめに

ツール・ド・秩父大会、正式名称はインターナショナル・チャレンジ・サイクリング大会は、平成元年度に始まり平成7年度大会で第7回を数えることとなった。

年々回数を重ねるうちに、大会参加者も増加し、首都圏でも最大規模のサイクリング大会になっている。主催団体の一つである（財）日本サイクリング協会では、自治体との共催するサイクリングイベントの内ツール・ド・秩父を、インターナショナル・オホーツク・サイクリング（北海道）全日本マウンテンサイクリングin乗鞍（長野県）、ツール・ド・のと（石川県）、ツール・ド・おきなわ（沖縄県）とあわせて日本の5大ツール・ドと呼んでいる。

この大会をはじめのきっかけとなったのは、平成元年に埼玉県サイクリング協会が埼玉県にサイクリング大会を開催したいと話を持ち込んだのが最初である。

当時、県では平成元年3月に秩父リゾート地域整備構想の承認を受け、秩父リゾート整備に着手する段階であった。

そこで、県はハードの整備と合わせてソフトの施策、特にイベントによる地域活性化に着目していた。

タイミング良く持ち込まれた話に、県ではこのイベントを是非秩父リゾート地域で実施したらどうかということで、秩父リゾート地域整備推進協議会（秩父リゾート地域11市町村が中心となって組織された協議会、事務局は秩父広域市町村圏組合内）に話が持ち込まれた。

この協議会は、昭和63年8月に秩父リゾート地域整備構想の推進を図るために組織され、会長は秩父市長（内田全一）である。このイベントの件について協議会で検討され、秩父リゾートのPRになることや地域の活性化につながるだろうとのことで開催することが了解された。特に、会長の内田秩父市長は、人集め行政を積極的

に展開していることからこのイベント実施に熱心であった。

ツール・ド・秩父の概要

大会の趣旨

この大会は、市民レベルの自転車愛好者を対象とし、体力・技術面で自己にチャレンジするサイクルスポーツの機会を提供し、リゾート地での「森輪浴」を通して人間性の回復を図ることを目的とするサイクリング大会である。

大会開催の趣旨は第1回目から同様であり、緑豊かな秩父リゾートでサイクリング大会を実施して首都圏住民に快適な気分を味わっていただき、あわせて秩父リゾートをPRしたいというものである。また後述するがリゾート地域イベント計画でもイメージマーケティング事業として位置付けたように、秩父地域の新しいイメージの創造、首都圏のサイクリングのメッカとしてのイメージを目指すものである。

まず、イベントを創出するには、イベントを地域づくりにどのように位置付けるのか、イベント・コンセプトを明確にしておくことが大切であると思う。

ところで、秩父地域は、県内でも代表的な観光地であり、秩父多摩国立公園の豊かな自然や、秩父札所34カ所や秩父夜祭等の伝統的民俗文化が観光の中心であった。

これらのイメージが強い観光地に、新しいスポーツイベントはなじまないのではないのかといった意見もあったが、リゾート構想でも基本的テーマが人間の「感性と共感」で、ゆっくりと楽しめる「新しいリゾート地」の形成といったことを目指すことから、ツール・ド・秩父は秩父リゾートにふさわしいイベントになるのではないかということであった。

また、サイクリングというスポーツは、世界的にも最も親しまれ、また、若年層から高齢者層まで幅広く参加できるスポーツとして、高齢社会に入った日本ではますます人気が高まることが予想されるだろうということであった。

これらのことから、ツール・ド・秩父は秩父リゾート推進のトリガー（引き金）になることが期待されたイベントであった。

大会の名称も、将来的には世界的な大会に育てたいということで、「インターナショナル・チャレンジ・サイクリング」とし愛称で「ツール・ド・秩父」とした。なお、ツール・ドという名称を使用するに当たってはいろいろ議論を重ね、ツール・ドという言葉はレース的な意味が強いのでサイクリング大会としては好ましくないのではないかとといった意見もあった。

だが、世界的なビッグイベントであるツール・ド・フランスが有名であり、ツール・ドという言葉がサイクルスポーツの世界では市民権を得ていたことなどからこの名称を使用した。

その後、この名称を使用したことから参加者の内で、レースではないかといった錯覚をして参加される方もいて主催者としてはそのイメージを払拭するに大変苦労した。

やはり、イベントのネーミングは重要であり、新しいイベントを創出する場合十分検討してから、イベントのイメージを醸し出し、なおかつ斬新でPR性の高いネーミングをする必要がある。

大会の組織

大会の主催団体は、埼玉県、秩父広域市町村圏組合、（財）日本サイクリング協会、秩父リゾート地域整備推進協議会、株秩父開発機構の5団体である。

主管は、インターナショナル・チャレンジ・サイクリング実行委員会、実行委員会の事務局は秩父リゾート地域整備推進協議会（秩父広域市町村圏組合振興課内に事務局）である。

実行委員会の構成は、大会の主催団体の他、自転車業団体、旅館業団体、観光団体等である。

埼玉県サイクリング協会は、現在は特別協力団体で主に大会の実技面での協力をいただいている。

実行委員会の事務局は、大会の趣旨から秩父リゾート地域整備推進協議会で引き受けることとなった。なお、第4回大会まで浦和事務局を埼玉県サイクリング協会に置いていた。

大会の運営方法

大会の運営については、実行委員会が中心となり進められてきたが、大会予算経理、大会広報、参加者募集、受付、プログ

ラム作成等、大会開催に至るほとんどの事務処理は、実行委員会事務局である秩父リゾート地域整備推進協議会事務局の秩父広域市町村圏組合振興課内で処理されている。

大会は、毎年10月の第2土曜日、第3日曜日（週の関係で第3土曜日第4日曜日の場合あり）に開催されている。

大会のスタッフは、埼玉県・関係市町村職員、埼玉県サイクリング協会役員、埼玉県自転車・軽自動車商協同組合秩父支部会員等である。県サイクリング協会には実技面全般の協力ということで、自転車検査、スタート・ゴール管理、コース監察等を実施してもらっている。また、自転車商組合秩父支部にはコース上の参加者の安全誘導をもらっている。

参加者の状況

大会参加者の状況は、次表とおりである。

なお、第4回大会までチャレンジコースということで120キロのコースを実施していたが、参加者の安全面を考慮して中止とした。当初、このコースを廃止したことにより参加者が減少するのではないかとといった心配があったが、その心配はなく参加者数は順調に推移している。

また、参加者の所在地であるが埼玉県を中心とした関東地方からの参加者がほとんどである。この傾向は、毎年あまり変化がない。なお、埼玉県内の参加者は地元秩父市が最高でその次に熊谷市、他は県南を中心に参加者が見られる。ところで、秩父リゾート地域11市町村からの参加者は、県内の参加者の約3割でこの傾向も大きな変化はない。

東京都や県南都市の参加者の多くは宿泊をしてこの大会に参加しており地域経済の活性化にも貢献していると思われる。

まとめ

ツール・ド・秩父も年々回数を重ねるうちに秩父リゾートを代表するイベントになりつつある。これも継続して実施しているからで、新規のイベントが地域に定着するまでには最低10年がかかると思われる。

ところで、このイベントが持ち込み企画で行政側に話が最初に来

た関係もあり行政側で事務局を引き受けたということから、官製のイベントとしての性格を有してしまった。

事務局を担当している者の一人としての反省点は、地域住民をイベントの実施段階から主体的に参加する仕組みを創設しなかったことなどから、地域住民からこの大会に対する理解や地域のイベントである認識がなかなか得られないということである。そのため、地域からの盛り上がりには欠けている面が見られる。

やはり、イベントの主役は、地域住民でありその主役が本気で盛り上がり、自分たちも楽しみながら参加者をもてなそうという気持ちで対応することが大切である。そのような形になれば、地域全体でイベントに取り組んでいる雰囲気が出てより一層盛り上がるものと思われる。

イベントの種類は違うが、岩手県陸前高田市では全国太鼓フェスティバルを開催している。ここは住民が主体となり実行委員会を組織して、市役所は金を出すが口は出さないという形で住民の自主性に任せてイベントを実施している。

ここでは実行委員会のスタッフもボランティアで募集しており、住民が率先して参加し、大変成功を納めている。特に、この実行委員会の委員長は民間人でバイタリティーとリーダーシップがあり、このような人材がいることも成功の大きな要因となっている。

また、行政側も裏方に徹して実行委員会の動きやすいように積極的にサポートしている。イベントの種類や、地域的特性があり陸前高田市方式をすべて本地域に導入することは難しい面もあるが、大変参考になる事例である。

特に、今後ツール・ド・秩父を実施する際にボランティアスタッフの活用は大きな課題となる。この際に留意すべき点は事業の企画段階からボランティアスタッフを取り組んで参加意識を持たせることが大切であると思う。

本年度、秩父リゾート地域整備推進協議会では、（財）日本サイクリング協会、埼玉県サイクリング協会と連携して、秩父リゾートを首都圏のサイクリングのメッカにするため、1年を通してサイクリングを楽しんでもらえるよう「秩父サイクリングコースマップ」を作成した。



＜国際チャレンジサイクリング「ツール・ド・秩父」＞

これは、秩父リゾートエリアに（財）日本サイクリング協会の推奨する10コースを設定して、それをマップ（地図）におとし、参加者が各コースの途中にあるスタンブポイントで指定のハガキに押印してもらい、それを返送すると記念品を差し上げるシステムとなっている。このような試みは、全国でも最初のことである。

このサイクリングコースマップも、ツール・ド・秩父大会の実績があったことにより（財）日本サイクリング協会等からの支援が得られたものである。また、ツール・ド・秩父大会の付加価値も高まると思われる。

リゾート（Resort）は、「足繁く通う」という意味の古フランス語 *resortir* が語源であると言われている。リゾートの先進国である欧米では「保養・休養等を目的として人々がしばしば行く場所」という意味で用いられている。

今後、日本においてもますます自由時間が増大する中で、秩父リゾートも欧米のような意味での首都圏における本格的リゾート地となることが期待されている。そのためには、このツール・ド・秩父大会がリゾート地での生活を楽しめるイベントのひとつになるよう地域住民を巻き込んで地域全体で育成していく必要があると思う。



インターナショナルチャレンジサイクリング〈ツール・ド・秋〉参加状況

大会 コース	第1回大会 H1. 10. 21-22		第2回大会 H2. 10. 13-14		第3回大会 H3. 10. 12-13	
	参加申込	出走者	参加申込	出走者	参加申込	出走者
チャレンジ (120km)	216	194	409	368	613	339
リゾート (60km)	181	172	450	419	928	480
ファミリー (30km)	-	-	48	37	118	54
計	397	366	907	824	1659	873

大会 コース	第4回大会 H4. 10. 17-18		第5回大会 H5. 10. 16-17		第6回大会 H6. 10. 15-16	
	参加申込	出走者	参加申込	出走者	参加申込	出走者
チャレンジ (120km)	575	514	-	-	-	-
リゾート A (60km)	885	760	1044	896	1218	1067
リゾート B (60km)	-	-	67	57	62	57
ファミリー (30km)	107	79	121	103	195	162
MTBヒルクライム (3km)	-	-	50	38	-	-
計	1567	1353	1282	1094	1475	1286

大会 コース	第7回大会 H7. 10. 14-15		第8回大会 H8. 10. 12-13	
	参加申込	出走者	参加申込	出走者
リゾート A (80km)	250	230	285	274
リゾート B (60km)	1039	905	1203	1132
ファミリー (30km)	285	269	269	247
計	1574	1404	1757	1653

昭和34年度

5・3

新緑の奥多摩コース、ダウンヒルを
楽しむサイクリングの集い

小河内ダム

5・9

理事会

北浦和

6・6

役員会

正丸↓秩父↓長瀨↓川越

6・20

第1回SCAラリー

北浦和

7・11

SCAリーダー制定

日光

7・20

第1回国立公園大会

北浦和

8・8

加盟クラブ代表者会議

岡山

8・15

第3回日本サイクリング協会

北浦和

9・15

SCAリーダー委員会

自治会館

9・16

協会旗披露並びに新役員会

大野 健雄

顧問

福永 健司

星野 舂

相談役

綱島 憲次

松本 喜

名誉会長

栗原 達郎

高田 四郎

副会長

相川 曹司

星野 昌夫

常任理事

野口 猛雄

坂井 貞夫

理事

中村 祥一郎

上條 磐根

監事

山崎 正夫

今井 富士夫

書記

鈴木 保

豊田 弘一

書記

田口 隆央

大島 秀明

記録

馬場 和夫

秋山 正一

中村 祥一郎

10・3

理事会・SCAリーダー委員会

北浦和

10・20

機関誌「むさしの」創刊

大宮

10・25

SCAリーダー講習会

国立中央青年の家

11・14

JCA講師研修会

富士西湖

11・22

東西交歓ラリー

北浦和

12・3

理事会・SCAリーダー委員会

浦和市公会堂

12・13

SCAリーダー委嘱式

大宮↓岩槻

1・24

新春サイクリング・新春懇親会

東京

2・20

JCA代議員会

多摩湖畔

2・28

第1回自転車クロスカントリレー大会

北浦和

3・19

理事会

日赤浦和

昭和35年度

リーダー研修会(救急法)

神奈川

4・24

第4回全国サイクリングラリー

日赤浦和

6・4

SCA救急員養成特別講習会

浦和

6・9

7・5/7・26/8・6

秩父

8・1

関東サイクリングラリー準備委員会

北海道

8・20

SCAワッペン作成

県立図書館

8・21

第1回関東サイクリングラリー

伊東

9・10

&関東地区サイクリング連絡協議会

浦和

9・17

第2回国立公園大会

大宮↓川越↓平林寺

9・28

理事会・関東ラリー反省会

11・6

JCA講師研修会

11・28

関東地区サイクリング連絡協議会

11・28

県民サイクリング

3.9	12.20	11.28	11.20	11.15	11.8	9.9	11.7	9.2	8.1	7.26	7.25	7.22	7.21	7.4	5.22	5.22	5.17	5.16	5.8	4.6	昭和39年度	3.28	3.2	2.26	2.23	1.12	1.10
3.29	SCAパーティー	理事会	第12回秩父宮杯埼玉県自転車伝大会	JCA講師研究会	JCAサイクリング指導者講習会	関東地区サイクリング指導者講習会	10.19 理事会	第8回全国サイクリングラリー	シーサイド・レクリエーション (海を楽しむ集い)	指導者研修会	第6回国立公園大会	JCA法人化認可	関東地区サイクリング指導者講習会	理事會・サイクリスト表彰審査会	第6回SCAラリー	理事會	埼玉県社会体育レクリエーション 研究大会	JCA・大学サイクリング指導者講習会	JCAサイクリング指導者講習会	埼玉県社会体育レクリエーション 研究大会	戸隠高原	城ヶ島YH	日本青年館	大宮体育館	大宮体育館	大宮体育館	大宮体育館
事務局	北本	事務局	浦和↓秩父	自転車会館	前橋(群馬県スポーツセンター)	高知市	事務局	南伊豆・須崎	中部山岳	榛名湖畔	北本青年研究所	川口・鳩ヶ谷・浦和	事務局	事務局	事務局	事務局	大宮体育館	大宮体育館	大宮体育館	大宮体育館	大宮体育館	大宮体育館	大宮体育館	大宮体育館	大宮体育館	大宮体育館	大宮体育館

3.18	昭和40年度	39年度サイクリング指導者養成・中央講習会	大津YHセンター
20			
5.12	理事会・評議員会	県庁	
6.9	緊急常任理事会	事務局	
6.27	サイクリング指導者講習会	大宮	
7.1	「協会のしおり」作成		
7.1	JCA常任委員会	日本自転車会館	
7.4	サイクリング指導者講習会	上尾	
7.22	常任理事会	事務局	
7.24	第1回県民サイクリングの集い	鎌北湖	
8.1	JCAニュース NO.1 発行		
8.7	第9回全国サイクリングラリー	和歌山	
8.8	第7回国立公園大会	十和田・八幡平	
9.8		事務局	
9.15	理事会・サイクリスト表彰審査会	国立教育会館	
9.21	関東甲信越連絡協議会		
9.25	第7回SCAラリー		
10.1	(県民体育祭サイクリング)		
10.14	自転車業界共同PR始まる テレビ新聞等		
11.13	第19回全国レクリエーション大会	山形市	
11.17	第1回関東甲信越サイクリングラリー	東京	
1.3	若人の森建設大会参加記念・親善ラリー	沖縄	
1.9	中央指導者研修会(東日本地区)	日本学生会館	
1.24	中央指導者養成講習会	青少年総合センター	
2.25			
2.27			

3・20 21	第3回南関東サイクリングラリー 千葉県大会	千葉
昭和41年度		
4・20	理事会	事務局
8・初	指導普及用サイクリング車配属	事務局
8・5	第10回全国サイクリングラリー	山形
8・25	群馬・栃木・埼玉・交歓	埼玉
9・26	サイクリングラリー（SCA主催）	事務局
9・16	理事会	
9・20	自転車道路建設促進協議会設立	
10・1	第2回県民サイクリングの集い	
10・2		
10・10	国鉄初のサイクリング電車	大阪↓相生
11月	全国46都道府県組織化完了（JCA）	
11・5	第2回関東甲信越・第4回南関東 サイクリングラリー	神奈川
11・6	第20回全国レクリエーション大会	長崎
12・10	中央講師研修会	代々木
12・11		代々木
2・5	中央指導者研修会	代々木
2・6		
2・18	中央指導者養成講習会	代々木
3・1	常任理事会・ラリー運営委員会	事務局
3・12	埼玉県レクリエーション大会	大宮公園
3・19	第8回SCAラリー	東松山
3・25	女子サイクリングリーダー養成講習会	狭山湖
3・26		

昭和42年度		
6・6	第2回レク指導者養成講習会	東松山
6・11	サイクリング教室	川口
6・27	役員会	事務局
7・8	県内サイクリング指導者養成講習会	事務局
7・9		
7・22	青少年野外活動サイクリング講習会	秩父
8・4	第11回全国サイクリングラリー	岐阜・大垣
8・5		
8・10	第9回国立公園大会	箱根
8・11		
8・18	第21回全国レクリエーション大会	大津
8・20		
8・24	指導普及用サイクリング車配属	飯能YH
9・24	東京自転車健保第8回サイクリング	大宮
9・30	第3回関東甲信越サイクリングラリー	桐生・前橋・伊香保
10・1	群馬大会	
10・7	第2回サイクリングトロフィー	多摩町
10・8	サイクリングトロフィー実行委員会	事務局
10・14	サイクリング相談の店認定伝達式	東松山青年の家
12・7	指導普及用サイクリング車配属	上尾
12・17	県民レクリエーションの集い	
1・19	中央講師研修会	
2・9		
2・11	中央指導者講習会	青少年総合センター
2・15		
3・23	理事会	事務局
3・24	青少年スポーツ活動（サイクリング） 指導者講習会（24日はSCAラリー参加）	飯能
3・24	第9回SCAラリー	

昭和43年度

4・1	JCA指導者制度施行(1・2級リーダー)	
5・15	指導普及用サイクリング車転属(事務局分)	
	浦和一女(2台) 岩槻青年の家(8台)	
8・3	第12回全国サイクリングラリー	福岡
8・23	青少年リーダーサイクリング講習会	東松山→野上→嵐山
9・25	(サイクリング教室)	
9・28	第4回関東甲信越サイクリングラリー	千葉
10・7	指導普及用サイクリング車配属	上尾運動公園
10・10	秋の秩父路サイクリングの集い	
11・16	(サイクリング専用臨時電車)	
11・17	2級リーダー養成講習会&	
12・23	青少年リーダーサイクリング講習会	飯能YH
2・8	関東甲信越各都県協会有志懇談会	浦和
3・15	中央指導者講習会	青少年総合センター
3・17	中央講師研修会	大阪
昭和44年度		
5・27	野外活動研修会(サイクリング教室)	東松山青年の家
7・5	中央講師研修会	
7・7	役員総会	CSC
7・16	サイクリング教室	事務局
8・2	第13回全国サイクリングラリー	小川
8・3		金沢市・能登半島
8・6	第11回国立公園大会	島根

昭和45年度

8・20	サイクリング教室	飯能YH
8・21	武蔵サイクリングコース開通式	金子坂
8・26	入間青年の家開所式	
9・5	普及指導用サイクリング車配属 20台	
9・10	埼玉県自転車道路建設促進協議会設立	
9・18	普及指導用サイクリング車配属	大宮公園
9・21	上尾運動公園分10台+新車20台	
9・22	第5回関東甲信越サイクリングラリー	佐渡
9・27	サイクリング教室	埼玉図書館ホール
10・28	第11回SCAラリー	北本市
11・2	第2回クラブラリー	箱根
11・3	サイクリング教室	川口市青木運動公園
11・9	SCLC設立発起人会	事務局
11・10	第23回全国レクリエーション大会	岡山県
11・15	サイクリング教室	北本中央公民館
12・14	SCLC設立総会	事務局
12・21	中央指導者講習会	
1・17	千葉県協会との懇談会	CSC
1・24	SCLC研修会	SCA事務局
3・1	役員総会・普及指導員認定証伝達式	事務局
3・4	国鉄「輪行袋車内持ち込み」認可	
4・11	1・2級リーダー養成講習会	入間青年の家
4・12		
昭和45年度		
4・3	「自転車道の整備に関する法律」施行	
	昭和45年法律第16号	

5 10	サイクリング普及活動推進研究会 (輪行袋の利用法とその指導・刊行)	事務局
6 20	野外活動研修会	
6 21	レクリエーション指導者講習会	入間青年の家
7 28	野外活動キャンプ指導者講習会	入間青年の家
8 5	第14回全国サイクリングラリー	御殿場太郎坊キャンプ場
8 5	第12回国立公園大会	CSC
9 6	リーダー研修会	愛知県 事務局
9 9	普及指導用サイクリング車配属 普及指導用子供用軽快車配属	岩槻青年の家 草加市立栄小学校
9 13	第6回関東甲信越サイクリングラリー	長野県
9 14	1・2級リーダー養成検定講習会	東松山青年の家 岩槻青年の家
10 26	サイクリング教室	神宮外苑
10 27	交通安全・青少年健全育成自転車 道路法制定記念パレード中央大会	県立図書館
10 4	集団サイクリングの指導要領・刊行 (SCA常任委員会編・限定百部)	浦和↓大宮 北本中学校
11 7	SCAラリー前夜祭(映画会)	浦和
11 8	自転車道路法制定記念 第12回SCAラリー(パレード)	CSC
12 16	自転車安全教室	
12 22	サイクリング普及活動推進研究会	
1 23	中央指導者講習会	

昭和46年度	サイクリング指導者研修会	岩槻青年の家
5 28	第15回全国サイクリング大会	札幌↓千歳
8 7	第7回関東甲信越サイクリングラリー	宇都宮↓日光 事務局
9 19	栃木県大会	行田↓羽生↓加須 事務局
10 13	常任理事会	加須青年の家 事務局
10 24	利根サイクリング道路開通記念 第13回SCAラリー	青少年総合センター
11 7	SCLC研修会	大宮
11 13	1・2級リーダー養成検定講習会	
12 14	SCLC総会	
12 19	中央指導者講習会	
1 22	JCAより第17回全国サイクリング ラリー開催依頼着信	
2 5	JCA普及指導員伝達委嘱式 サイクリング普及活動推進研究会	
3 4	昭和47年度	
6 3	役員総会	
6 18	美容と健康・ママさんの サイクリング教室	浦和市民会館
7 16	子供とママさんの安全な乗り方 楽しいサイクリング教室	大宮大成長山団地 事務局・周辺
8 6	第16回全国サイクリング大会	蔵市公民館
8 7	第17回埼玉開催宣言V	京都
8 10	野外活動普及リーダー講習会	本栖湖
8 13	バイコロジをすすめる会・発足	

9・2	指導普及用サイクリング車配属	
9・2	長瀬青年の家30台・東松山青年の家20台	
9・2	1・2級リーダー研修会	長瀬青年の家
9・15	第8回関東甲信越サイクリング	
9・16	茨城県大会	茨城
10・14	千葉国体開会式・国体初の自転車パレード	
11・22	第14回SCAラリー	飯能
11・11	△おはようサイクリング県民大会▽	
11・11	第26回全国レクリエーション大会	神宮外苑
12・13	協賛サイクリング大会(12日)	
12・12	おはようサイクリング	
12・14	全国指導者研究協議大会	CSC
12・16	1・2級リーダー養成検定講習会	長瀬青年の家
1・17	中央指導者講習会	
1・20		
3・23	役員総会・普及指導員伝達委嘱式	CSC
3・3	企画部・総務部・指導委員会制度決定	事務局
3・20	埼玉県バイコロジ研究会結成	
昭和48年度		
5・12	企画部会(協会運営・企画)	事務局
5・26	総務部会(協会運営・総務)	事務局
6・1	中央指導者研修会	
6・4		CSC
6・9	役員総会	事務局
6・10	第2回バイコロジの集い全国大会	CSC
8・4	第17回全国サイクリングラリー・主管	秩父
8・9	第15回自然公園大会	阿蘇

9・14	第9回関東甲信越サイクリングラリー	甲府・富士吉田
9・15	山梨県大会	
9・21	JCA会議 全国ラリーのあり方について	京橋会館
9・22		
10・1	サイクリング相談の店・新制度実施	
10・6	1・2級リーダー研修会(サイクルOL)	東松山
10・7	第27回全国レクリエーション大会	
10・25		茨城
11・27	指導委員会	労働会館
11・11	指導委員研修会	
11・17	SCAラリー設営・管理	東松山
11・18	第15回SCAラリー	東松山
11・24	企画部会(グループ育成策・他)	労働会館
12・5	総務部会(協会機構と財源)	事務局
12・16	指導委員会(委員会諸規定・他)	事務局
12・19	普及活動研究会	岩槻青年の家
1・21	中央指導者講習会	
1・23		CSC
2・16	幹部会(年度内事業・他)	事務局
2・17	指導委員研修会	入間青年の家
3・8	普及指導員伝達委嘱式	
3・9	全国バイコロジ推進研究会	日本青年館
3・21	共済サイクリング講習会	CSC
3・22		
3・22	企画・総務合同部会	労働会館
(組織・会費・規約について)		
昭和49年度		
4・14	49年度普及活動研究会	長瀬青年の家
4・24	常任理事会	理事長宅

3 1	2 12	1 26	1 23	1 15	12 12	11 10	11 3	10 27	10 25	10 22	10 20	9 29	9 15	9 14	8 7	8 1	7 28	7 27	6 21	6 9	6 8	6 1	5 25	
JCA指導者連絡会議	常任理事会(50年事業計画)	中央指導者講習会	関東甲信越ブロック新年懇談会	常任理事会	埼玉協・SCA第1回打ち合わせ	常任理事会	おはようサイクリング埼玉県大会	常任理事会	埼玉協・SCA第1回打ち合わせ	第16回SCAラリー	第28回全国レクリエーション大会	常任理事会	埼玉県大会	浦和↓荒川サイクリングコース↓森林公園	第10回関東甲信越サイクリングラリー	第16回自然公園大会	関東甲信越ブロック代表者会議	第18回全国サイクリングラリー	SCLC総会	中央指導者研修会(サイクルOL)	第3回バイコロジのつどい	1・2級リーダー養成検定講習会	役員総会	サイクルOLリーダー研修会
上野文化会館	CSC 理事長宅	浦和小島屋	組合事務所 青少年会館	川口 青少年会館	佐賀 青少年会館	北浦和	御前崎 青少年会館	青少年会館	青少年会館	青少年会館	青少年会館	青少年会館	青少年会館	静岡・朝霧高原	浦和市民体育館	広島	労働会館	富士緑の休暇村	CSC	東松山青年の家	東松山青年の家	東松山青年の家	東松山青年の家	

昭和50年度	3・21	4・6	4・23	5・13	5・28	6・1	6・1	6・1	6・4	6・8	6・11	6・14	6・15	7・23	7・14	6・26	7・14	8・1	8・2	8・2	9・3	9・3	9・6	9・7	9・21	9・25	10・31	10・4	10・9	10・10	11	
関西で集印サイクリング実施・8月20日まで	皇居周辺サイクリング道路・オープン	常任理事会(50年度事業計画・組合との協力体制)	埼玉連代議員会	加盟グループ一覧表作成(36グループ)	普及活動研究会・普及指導伝達委嘱式	常任理事会	第4回バイコロジのつどい	役員総会	1・2級リーダー養成検定講習会	常任理事会	SCLC総会・研修会	協会創立20周年記念大会実行委員会	第17回自然公園大会	第19回全国サイクリングラリー福島県大会	三陸海岸	裏磐梯	理事長宅	東松山青年の家	滑川村	青少年会館	東松山青年の家	滑川村	青少年会館	東松山青年の家	滑川村	青少年会館	東松山青年の家	滑川村	青少年会館	東松山青年の家	滑川村	青少年会館

昭和51年度	10月25日	第2回サイクルOL全国大会	唐津市 自転車広報センター	7月18日	1・2級リーダー養成検定講習会	人間青年の家
	11月26日	メモリーサイクリング	越谷・春日部・岩槻	7月20日	企画部会	事務局
	11月31日	常任理事会	事務局	7月22日	総務部会	事務局
	11月6日	第17回埼玉県サイクリングラリー	越谷・春日部・岩槻	8月1日	SCLC総会	事務局
	11月16日	第29回全国レクリエーション大会	徳島	8月7日	指導委員会(OLコース調査)	児玉町
	11月21日	中央指導者研修会		8月8日	第20回全国サイクリングラリー	熊本・阿蘇
	11月22日	(JCAリーダー予備研修会)	CSC	8月24日	SCLC幹事会	事務局
	12月18日	常任理事会	事務局	8月26日	常任理事会	事務局
	1月9日	緊急常任理事会(20周年行事)	理事長宅	8月28日	指導者研修会	神川青年の家
	1月23日	中央指導者講習会	CSC	9月2日	第3回埼玉県サイクルOL大会	神川青年の家
	1月29日	理事会(20周年式典の件)	事務局	9月12日	企画・総務合同部会	事務局
	3月7日	第1回チャレンジサイクル ロードレース大会	CSC	9月14日	協会創立20周年記念式典	浦和市民体育館
			CSC	9月28日	常任理事会	事務局
				10月2日	相談の店資格審査委員会	秋田
				10月4日	第30回全国レクリエーション大会	
				10月10日	第12回関東甲信越サイクリングラリー	神奈川県箱根町
				10月11日	神奈川県大会	事務局
				10月12日	常任理事会	千葉
				10月22日	第3回全国サイクルOL大会	事務局
				10月23日	指導委員会	所沢
				10月26日	常任理事会・指導委員会	事務局
				11月2日	第18回埼玉県サイクリングラリー	越谷
				11月7日	常任理事会	CSC
				11月9日	指導委員会研修会	越谷
				11月14日	中央指導者研修会	越谷
				11月20日	(JCAリーダー検定会)	越谷
				11月23日	マップリーダーディング講習会	事務局
				12月7日	常任理事会・指導委員会	事務局
				12月14日	SCLC	事務局

12・18	相談の店資格審査委員会	事務局
12・18	年末懇親パーティー	浦和市民会館
12・21	常任理事会	事務局
1・11	常任理事会	事務局
1・20	中央指導者講習会	
1・23	SCLC	CSC
2・8	常任理事会	事務局
2・20	リーダー研修会	事務局
3・8	常任理事会	荒川サイクリングコース
3・22	SCLC	事務局
3・25	相談の店資格審査委員会	事務局
昭和52年度		
4・12	常任理事会	事務局
4・17	はたちの祝い	岩槻
5・10	常任理事会	事務局
5・24	SCLC総会	青少年会館
6・14	常任理事会	事務局
6・16	相談の店会議	青少年会館
6・25	役員総会	青少年会館
6・26	サイクリング教室	川口
7・4	集印メモリーサイクリングブロック会議	茨城
7・12	常任理事会	事務局
7・14	女性サイクリスト懇話会	東京
8・6	第21回全国サイクリングラリー	
8・28	第4回埼玉県サイクルOL大会	島根
9・4	サイクリング教室(サイクルスポーツ)	長瀬
9・9	第31回全国レクリエーション大会	川口
9・10	指導委員研修会	富山
9・11		長瀬

9・13	常任理事会	事務局
9・15	第13回関東甲信越サイクリングラリー	
9・16	群馬大会	群馬
10・11	常任理事会	事務局
10・15	サイクルOL全国大会	
10・16	第1回SCAクラブラリー	石川
10・22	第2回女性サイクリストの集い	所沢
10・30	常任理事会	入間
11・8	第1回マップリディンク埼玉県大会	事務局
11・13	第19回埼玉県サイクリングラリー	入間
11・20	JCAリーダー検定講習会	寄居
11・20	常任理事会	静岡
11・23	年末懇親パーティー	事務局
12・13	常任理事会	入間
12・17	JCA中央指導者講習会	事務局
1・10	常任理事会	静岡
1・20	1・2級リーダー養成検定講習会	事務局
2・7	常任理事会・指導委員会	東松山
2・18	第12回青少年のつどい埼玉県大会	滑川
3・14	常任理事会	上尾
3・16	県スポーツ指導員サイクリング研修会	事務局
3・19	第12回青少年のつどい埼玉県大会	上尾
昭和53年度		
4・11	常任理事会・指導委員会	事務局
4・22	マナー向上サイクリング打合わせ	浦和
5・9	常任理事会	事務局
5・14	集印サイクリング賞品授与式	事務局
5・21	サイクリングの集い	入間
5・28	サイクリングの集い	入間

5・28	マナー向上サイクリング・サイクリスト 検定	浦和↓大宮 入間
6・4	サイクリングの集い	青少年会館
6・6	SCLC総会	事務局
6・13	常任理事会	富士見
6・18	はたちの祝い	青少年会館
6・24	役員総会	大宮
6・25	サイクリング教室	事務局
7・11	常任理事会・指導委員会	事務局
7・25	SCLC・指導委員会	事務局
8・5	第22回全国サイクリングラリー	新潟 事務局
8・6	新潟県大会	浦和
8・8	常任理事会・指導委員会	上里↓戸田
8・9	サイクリング教室	小川 事務局
8・22	交通遺児交通安全キャンペーン	事務局
8・24	サイクリング	千葉
8・27	第5回サイクルオリエンテーリング 埼玉大会	岩手 越生
9・12	常任理事会	富士見
9・26	SCLC	上尾
9・30	第14回関東甲信越サイクリングラリー	上尾 事務局
10・10	1千葉県大会	静岡 青少年会館
10・14	サイクルオリエンテーリング全国大会	事務局
10・15	第2回SCAクラブラリー	青少年会館
10・21	サイクリング教室	
10・22	埼玉県レクリエーション大会	
11・5	第20回埼玉県サイクリングラリー	
11・14	常任理事会	
11・18	中央指導者研修会	
11・26	指導委員会・リーダー研修会	

12・12	常任理事会	事務局
12・16	年末懇親パーティー	深谷
1・9	常任理事会・指導委員会	事務局
1・19	中央指導者講習会	静岡 事務局
1・22	SCLC	台湾
1・31	日華親善サイクリング	事務局
2・27	常任理事会	事務局
2・13	常任理事会・指導委員会	事務局
3・13	浦和支部結成準備会	事務局
3・22	SCLC	事務局
3・27	バイコロジー運動打合わせ	青少年会館
3・30	昭和54年度	
4・10	常任理事会	青少年会館
5・20	はたちの祝い	東松山
5・26	第4回女性サイクリストのつどい	今市 浦和
6・3	健康とサイクリング制作(テレビ埼玉)	事務局
6・12	常任理事会	事務局
6・26	SCLC幹事会	事務局
7・3	常任理事会	事務局
7・14	役員総会	青少年会館
7・15	SCLCラン	鎌北湖
8・18	第23回全国サイクリングラリー	奈良
9・4	常任理事会・指導委員会合同会議	青少年会館
9・6	ブロックラリー結団式	青少年会館
9・8	指導委員・SCLC研修会	志賀坂
9・9	第15回関東甲信越サイクリングラリー	白樺湖

8 10	8 1	7 19	6 10	5 24	5 10	4 22	4 17	4 13	4 8	昭和55年度		6 13	3 4	12 16	12 16	12 1	11 20	11 10	11 9	11 4	10 28	10 3	9 30	9 30	9 23
第1回県南支部サイクリング交歓会	第34回全国レクリエーション大会	第24回全国サイクリングラリー	常任理事会	第5回女性サイクリンストのつどい	常任理事会	リーダー委嘱会	SCLC総会	はたちの祝い	常任理事会			リーダー養成講習会	常任理事会	輪行技術・マナー認定委員養成講習会	年末懇親パーティ	指導委員会・常任理事会	第3回SCAクラブラリー	第33回全国レクリエーション大会	第33回全国レクリエーション大会	第10回全国クラブラリー	青少年のつどい埼玉県大会	健康体力づくり部会	第21回埼玉県サイクリングラリー	埼玉県レクリエーション大会	第6回埼玉県サイクルオリエンターリング大会
飯能	石川県	神奈川	群馬県事務局	青少年会館	青少年会館	事務局	青少年会館	長瀬	事務局			青少年会館	事務局	大宮	事務局	湯西川	徳山	軽井沢	上尾	上尾	浦和	上尾	上尾	東松山	

5 21	5 16	5 1	4 27	4 26	4 19	4 19	4 5	3 28	2 12	1 12	1 10	1 1	12 13	12 6	11 13	11 4	10 18	10 14	10 5	10 5	9 28	9 15	9 14	9 2	8 18	8 13
常任理事会・指導委員会	第6回女性サイクリストのつどい	自転車文化センター開所式	県自転車安全教育推進委員会	はたちの祝い	SCLC総会	1・2級リーダー証伝達委嘱式	第1回SCA浦和支部ラリー	1・2級リーダー養成検定講習会	常任理事会・指導委員会	全国レクリエーション大会実行委員会	常任理事会・指導委員会	初詣サイクリング	年末懇親パーティ	1・2級リーダー養成検定講習会	ブロックラリー第2回実行委員会	県民会議体力づくり部会	サイクルオリエンテーリング全国大会	常任理事会・指導委員会	第22回埼玉県サイクリングラリー	埼玉県レクリエーション大会	リング大会	第7回埼玉県サイクルオリエンテーリング大会	第16回関東甲信越サイクリングラリー	常任理事会・指導委員会	全国レクリエーション大会準備会	県レクリエーション大会現地調査
事務局	茨城	東京	浦和	鎌北湖	事務局	事務局	浦和	長瀬	事務局	浦和	浦和	浦和	事務局	事務局	山口県	滑川	滑川	滑川	長瀬	茨城県	滑川	浦和	事務局	滑川	滑川	滑川

3 23	3 14	2 2	2 24	1 22	1 16	1 16	1 1	12 19	12 8	11 7	11 7	10 17	9 29	9 27	9 20	9 12	9 5	8 23	8 22	8 18	8 16	8 15	7 28	7 27	7 24	6 20	5 24
常任理事会・指導委員会	市民サイクリング	常任理事会・指導委員会	常任理事会・指導委員会	中央指導者講習会	協会創立25周年記念祝賀会	関東甲信越サイクリング協議会	第23回埼玉県サイクリングラリー	年末懇親パーティー兼 ブロックラリー反省会	常任理事会・指導委員会	第17回関東甲信越サイクリングラリー 埼玉大会	第35回全国レクリエーション大会	サイクルオリエンテーリング全国大会	常任理事会・指導委員会	無線講習会	第8回埼玉県サイクルオリエンテー リング大会	無線講習会	日赤救急法短期講習会	第25回全国サイクリングラリー	常任理事会・指導委員会	第23回自然公園大会	SCLCクラブラン						
事務局	浦和	事務局	静岡 事務局	浦和	浦和	浦和	越谷・浦和・秩父	浦和	長瀬 事務局	東松山	茨城	事務局	浦和	青少年会館	浦和	青少年会館	青少年会館	富山	浦和	南佐久	和歌山						

昭和57年度	4.12	4.15	4.20	4.27	5.6	5.15	5.16	5.18	5.20	5.23	5.25	6.8	6.8	7.4	7.4	7.8	7.17	7.18	7.24	7.25	8.3	8.14	8.15	9.7	9.11	9.12	9.12	9.26
ファミリーサイクリング埼玉大会	第1回運営委員会	SCLC総会	常任・指導委員会	役員総会	ファミリーサイクリング埼玉大会	第2回運営委員会	第7回女性サイクリストの集い	ファミリーサイクリング埼玉大会	第3回運営委員会	SCAニュース 創刊号発行	ファミリーサイクリング埼玉大会	指導委員会	指導委員会	協会創立30周年記念事業委員会	指導者研修会	日赤救急法短期講習会	埼玉連代表者会議	1・2級養成検定講習会	第26回全国サイクリングラリー	宮崎大会	常任理事会・指導委員会	第4回SCAクラブラリー	SCAラリー実行委員会	第18回関東甲信越サイクリングラリー	栃木大会	埼玉連代表者会議	埼玉県レクリエーション大会	
事務局	青少年会館	事務局	事務局	事務局	青少年会館	千葉	事務局	事務局	事務局	事務局	事務局	事務局	事務局	事務局	事務局	事務局	事務局	事務局	青少年会館	宮崎	事務局	事務局	名栗	浦和	浦和	岩槻	岩槻	岩槻

11・14	シラコバト賞授賞式	浦和
12・8	常任理事会・指導委員会	浦和
12・10	末懇親パーティー	春日部
12・12	SCAニュース 20号発行	
12・22	代表者会議	浦和
1・1	初詣サイクリング	川口
1・28	埼玉県スポーツリーダー研修会	スポ研
1・29	中央指導者講習会	静岡
2・4	指導委員研修会	大宮
2・5		毛呂山
2・19	リーダー交歓会	
2・25	中央指導者研修会	静岡
3・27	グループ代表者・指導者会議	静岡
3・11	市民サイクリング教室	浦和
3・25	常任理事会	事務局
3・26		事務局
	サイクリスト顕彰	
	SCA功労賞	藤本吉則
	優秀サイクリスト賞	築比地秀夫
	優秀クラグ賞	レジャーードサイクリングクラブ
	昭和59年度	
4・5	指導委員会	事務局
4・14	役員総会	事務局
5・10	SCLC総会	事務局
5・19	指導委員会・常任理事会	事務局
5・20		
5・27	第3回ファミリーサイクリング	越谷他
	埼玉県大会	

6・1	第9回女性サイクリストのつどい	大島
6・3	クリーンサイクリング	浦和
6・7	常任理事会	事務局
7・28	第28回全国サイクリングラリー	
8・11	第6回SCAクラブラリー	草津
8・26	県スポーツリーダー研修会	宮代
9・11	常任理事会	スポ研
9・16	第20回関東甲信越サイクリングラリー	事務局
10・15	SCAニュース 30号発行	甲府
10・20	SCA創立記念日のつどい	青少年会館
10・21	第26回埼玉県サイクリングラリー	川口オートレース場
11・3	第38回全国レクリエーション大会	
11・5		
11・11	埼玉県レクリエーション大会	鹿児島
12・8	常任理事会	春日部
12・8	年末懇親パーティー	事務局
1・1	初詣サイクリング	西川口
1・27	埼玉県スポーツリーダー研修会	高麗神社
2・2	常任理事会・指導委員会	県スポ研
3・3		
3・5	常任理事会	県スポ研
3・17	浦和市民サイクリング教室	事務局
	サイクリスト顕彰	浦和
	SCA功労賞	川村雄豊
	優秀サイクリスト賞	日比谷達夫
	特別賞	早田俊哉
	優秀クラグ賞	秩父サイクリスツーリングクラブ
	グッドサイクリング賞	栗原浩一
	サイクリング賞	黒川正三、山崎辰雄、田口敬子

12・7	埼玉県サイクリング協会創立30周年 記念祝賀パーティー	大宮(サンパレス)
1・18	第1回新春サイクリング	浦和↓川越
2・8	県スポーツリーダー研修会	スポ研
3・3	常任理事会	事務局
サイクリスト顕彰		
JCA功労賞	川村雄豊、近藤繁男	
JCA優良団体	川口サイクリングクラブ	
SCA功労賞	原田知治	
優秀サイクリスト賞	矢作知久	
特別賞	石原 博、田中三千代	
優秀クラグ賞	グリーンベルサイクリングクラブ	
サイクリング賞	亀田文夫、山崎辰雄	
昭和62年度		
4・12	役員総会 (第2代理事長→渡邊廣次)	
4・21	指導委員会	青少年会館
4・21	正副理事長会議	青少年会館
5・7	常任理事会	事務局
5・15	SCAニュース 60号発行	
5・17	センチュリーラン 埼玉	浦和↓秩父
7・7	常任理事会	事務局
7・26	第23回関東甲信越サイクリングラリー	群馬県
8・22	SCAクラブラリー	寄居町
8・23		
8・29	第31回全国サイクリングラリー	山口
9・30		
9・27	第29回埼玉県サイクリングラリー	寄居町
10・6	常任理事会	事務局
11・8	埼玉県サイクルOL大会	飯能

11・8	埼玉県レクリエーション大会	飯能
12・1	常任理事会	事務局
12・5	年末懇親パーティー	熊谷
1・10	第2回新春サイクリング	川口
2・7	リーダー・指導者研修会	青少年会館
2・7	常任理事会	事務局
2・7	正副理事長会議	事務局
3・1	SCAニュース 70号発行	
3・13	自転車教室	浦和
3・13	常任理事会	事務局
3・19	ツール・ド・サイタマ	県内
3・21		
サイクリスト顕彰		
JCA功労賞	星野 清、相原矩子、北村明子	
JCA優良団体	浦和サイクリングクラブ	
SCA功労賞	保泉 孝	
優秀サイクリスト賞	山崎辰雄	
優秀クラグ賞	たじまSCC	
グループ活動賞	たじまSCC、寄居CC、秩父CTC	
昭和63年度		
4・16	役員総会	
4・26	常任理事会	青少年会館
5・15	ファミリサイクリングI	事務局
5・29	ファミリサイクリングII	大宮
6・7	常任理事会	上尾
6・19	地方指導者講習会	事務局
7・3	第3回センチュリーラン埼玉	青少年会館
8・13	第10回SCAクラブラリー	浦和↓秩父
8・14		寄居

8・21	第32回全国サイクリングラリー	千葉
9・23	第24回関東甲信越サイクリングラリー	茨城
10・24	茨城県大会	茨城
10・6	常任理事会	事務局
10・30	第30回埼玉県サイクリングラリー	浦和
11・6	新県民体育大会サイクルOL大会	上尾
11・8	常任理事会	事務局
12・1	年末懇親パーティー	越谷
1・1	SCAニュース 80号発行	
1・8	第3回新春サイクリング(与野七福神)	与野
2・19	リーダー・指導者研修会	青少年会館
2・19	常任理事会	事務局
3・19	自転車教室	浦和

サイクリスト顕彰

SCA功労賞	日比谷達夫
優秀サイクリスト賞	宮林健二郎
グッドサイクリング賞	北村明子
サイクリング賞	相原矩子、小海一夫、神野 進
	田口安男

平成元年度

4・23	役員総会	青少年会館
5・23	常任理事会	事務局
6・4	センチュリーラン埼玉	県内
7・6	常任理事会	事務局
7・29	第33回全国ラリー	北海道・北見
8・30		川口
8・6	第31回埼玉県サイクリングラリー	野田・越谷
8・19	第11回SCAクラブラリー	東松山
9・20	埼玉県レクリエーション大会	

9・15	関東甲信越ブロックラリー	長野・野沢温泉
10・21	第1回インターナショナル	秩父リゾート
11・22	チャレンジサイクリング	
11・1	SCAニュース 90号発行	大宮
11・5	ヤングフェスティバル	
11・12	第2回県民総合体育大会	上尾
12・2	サイクルOL大会	事務局
12・2	常任理事会	川口
12・2	年末懇親パーティー	川越
1・7	第4回新春サイクリング	浦和
2・18	指導者研修会	事務局
2・18	常任理事会	浦和
3・25	自転車教室	事務局
4・12	常任理事会	

サイクリスト顕彰

JCA功労賞	日比谷達夫
SCA功労賞	矢作知久
優秀サイクリスト賞	亀田文夫
優秀クラブ賞	寄居サイクリングクラブ
サイクリング賞	飯塚 明、牛込房邦、橋本友彦

平成2年度

4・21	役員総会	青少年会館
5・22	常任理事会	事務局
7・1	第5回センチュリーラン埼玉	県内
7・29	第34回全国ラリー	香川・坂出
8・30		事務局
8・22	常任理事会	
8・25	第12回SCAクラブラリー	皆野
9・1	SCAニュース 100号発行	

9・10	埼玉県レクリエーション大会	岩槻
9・15	関東甲信越ブロックラリー	新潟・弥彦
9・30	第32回埼玉県サイクリングラリー	浦和
10・13	第2回インターナショナル チャレンジサイクリング	秩父 事務局
11・10	常任理事会	
11・11	第3回県民総合体育大会	東松山
12・1	サイクルOL大会	浦和
12・1	年末懇親パーティー	越生
1・6	第5回新春サイクリング	事務局
2・14	常任理事会	青少年会館
2・17	指導者研修会	
3・17	サイクリング教室	浦和 県内
	①乗れない人の自転車教室	
	②ゲームサイクリングはしのかっぶ	
	サイクリスト顕彰	
	JCA功労賞	保泉 孝
	SCA功労賞	山崎辰雄
	優秀サイクリスト賞	小海一夫
	特別賞	中屋 怜
	グットサイクリング賞	北村明子
	サイクリング賞	園原規文、亀田文夫、橋本友彦、富田千都子 杉本公一、栗原浩一、金子育可、新井理幸
平成3年度		
4・11	常任理事会	事務局
4・20	役員総会	青少年会館
5・12	ファミリーサイクリング	浦和
5・8	常任理事会	事務局
6・16	リーダー養成講習会	浦和
7・7	第6回センチュリーラン埼玉	県内

7・18	常任理事会	協会
8・18	第13回SCAクラブラリー	新潟・十日町枯木又
8・19	第35回全国ラリー	静岡・浜松
8・25	第27回関東甲信越ブロックラリー	千葉・銚子
8・26	第33回埼玉県サイクリングラリー	事務局
9・24	常任理事会	渡良瀬
9・29	第3回インターナショナル チャレンジサイクリング	秩父 時国
10・12	常任理事会	上尾
10・13	第4回県民総合体育大会	浦和
11・9	サイクルOL大会	寄居
11・10	SCAニュース 110号発行	六辻八民館
11・15	年末懇親パーティー	浦和
12・9	第6回新春サイクリング(武州七福神)	浦和
1・5	常任理事会	浦和
2・15	指導者研修会	浦和
2・16	サイクリング教室	
3・15	①乗れない人の自転車教室	
	②ビギナーズのためのサイクリング	
	サイクリスト顕彰	
	SCA功労賞	新井理幸
	優秀サイクリスト賞	中屋 怜
	特別賞	内藤武子
	優秀クラブ賞	しらこばとサイクリングクラブ
平成4年度		
4・25	役員総会	青少年会館
5・17	第1回サイクルフェスタ IN 川口	川口オートレース場
6・3	常任理事会	事務局

6・6	第6回県民総合体育大会開会式	上尾
6・7	第7回センチュリーラン埼玉	県内
7・25	第14回SCAクラブラリー	浦和青少年野外活動センター
8・9	第36回全国サイクリングラリー	長野・浅間温泉
8・22	第28回関東甲信越ブロックラリー	栃木・鹿沼
9・1	常任理事会	事務局
9・15	第29回関東甲信越サイクリングラリー	山梨・石和
9・16	第34回埼玉県サイクリングラリー	所沢航空公園
10・20	第4回インターナショナル	秩父リゾート
10・17	チャレンジサイクリング	伊奈
11・8	第5回県民総合体育大会	川口
	サイクルOL大会	川口
11・15	SCAニュース 120号発行	川口
12・5	常任理事会	川口
12・5	年末懇親パーティー	浦和
1・10	第7回新春サイクリング(武蔵野七福神)所沢・人間	浦和
2・21	指導者研修会	浦和
3・7	サイクリング教室	浦和
	①乗れない人の自転車教室	浦和
3・27	②ビギナーズのためのサイクリング	浦和
	常任理事会	事務局
	サイクリスト顕彰	小海一夫
	SCA功労賞	橋本友彦
	優秀サイクリスト賞	浦和サイクリングクラブ
	優秀クラブ賞	白石昭夫
	特別賞	

平成5年度		
4・17	役員総会	青少年会館
5・6	常任理事会	事務局
5・16	第2回サイクルフェスタ IN 川口	川口オートレース場
6・6	マウンテンバイク大会	秩父ミューズパーク
7・4	第8回センチュリーラン埼玉	県内
7・24	第15回SCAクラブラリー	茨城・桂村
8・1	第37回全国サイクリング大会	石川県・山中温泉
8・2	第29回関東甲信越ブロックラリー	山梨県・石和温泉
8・23	常任理事会	事務局
8・26	第35回埼玉県サイクリングラリー	大宮第2公園
9・23	第5回インターナショナル	秩父リゾート
10・16	チャレンジサイクリング	事務局
10・17	常任理事会	川島
11・30	第5回県民総合体育大会	浦和
11・14	サイクルOL大会	浦和
12・4	年末懇親パーティー	浦和
1・9	第8回新春サイクリング(見沼散策)	浦和
2・19	リーダー養成検定講習会・指導者研修会	青少年会館
3・13	サイクリング教室	浦和
3・27	第1回彩の国マウンテンバイク大会	秩父ミューズパーク
4・14	常任理事会	事務局
	サイクリスト顕彰	中屋 伶
	SCA功労賞	白石昭夫
	優秀サイクリスト賞	土合サイクリングクラブ
	優秀クラブ賞	北村明子
	グッドサイクリング賞	

サイクリング賞

岩淵可浩、園原規文、熊川邦明、宮沢信芳
杉本公一、平沼康平、白石昭夫、白石尚也
鈴木光則、小川 宏、岡安義則

平成6年度

4・23	役員総会	青少年会館
5・5	SCAニュース 130号発行	
5・29	第3回サイクルフェスタ IN 川口	川口オートレース場
6・5	第9回センチュリーラン埼玉	県内
7・16	常任理事会	事務局
8・6	第16回SCAクラブラリー	新潟県・六日町
8・27	第38回全国サイクリング大会	兵庫県・淡路島
9・18	第36回埼玉県サイクリングラリー	秋ヶ瀬公園
10・15	第6回インターナショナル チャレンジサイクリング	秩父リゾート
10・22	第30回関東甲信越ブロックラリー	東京都・神宮外苑他
11・23	第6回県民総合体育大会	上尾
11・27	埼玉県レクリエーション大会 サイクルゲーム大会	春日部 事務局
12・2	常任理事会	浦和 川口
12・3	年末懇親パーティー	スポ研
1・8	第9回新春サイクリング(亀戸天神) 指導者研修会(新指導者制度補講)	浦和・調公園 秩父・ミューズパーク
3・19	サイクリング教室	事務局
3・30	第2回彩の国マウンテnbaiク大会 常任理事会	

サイクリスト顕彰

JCA功労賞
優秀サイクリスト賞
優秀クラブ賞
特別賞
サイクリング賞

新井理幸、山崎辰雄
戸田信治
川口サイクリングクラブ
渡部千枝子
岩淵可浩、杉本公一、安達将芳、白石昭夫
小川 博

平成7年度

4・19	役員総会	青少年会館
4・23	第4回サイクルフェスタ IN 川口	川口オートレース場
6・11	第10回センチュリーラン埼玉	県内
7・15	第39回全国サイクリング大会	青森県・十和田
8・16	第17回SCAクラブラリー	千葉県・富浦町
8・26	常任理事会	事務局
9・3	第37回埼玉県サイクリングラリー	北本・自然観察公園
9・14	第31回関東甲信越ブロックラリー	群馬県・水上
10・14	第7回インターナショナル チャレンジサイクリング	秩父リゾート
11・15	SCAニュース 140号発行	
11・26	第7回県民総合体育大会 サイクルOL大会	嵐山町 事務局
12・9	常任理事会	浦和
12・14	年末懇親パーティー	与野
1・7	第10回新春サイクリング(与野七福神) 指導者研修会	青少年会館
2・18	サイクリング教室	浦和・調公園
3・24	常任理事会	事務局

サイクリスト顕彰

SCA功労賞

優秀サイクリスト賞

グッドサイクリング賞

サイクリング賞

戸田信治

園原規文

北村明子

岩渕可浩、山本 弘

平成8年度

4・13 役員総会

4・28 第5回サイクルフェスティン 川口

5・26 埼玉県レクリエーション大会

サイクルゲーム大会

6・9 第11回センチュリーラン埼玉

7・14 サイクリングインストラクター

養成検定講習会

7・24 第38回自然公園大会

8・3 第18回SCAクラブラリー

8・25 第40回全国サイクリングラリー

9・8 第38回埼玉県サイクリングラリー

9・8 第32回関東甲信越サイクリングラリー

10・12 第8回インターナショナル

11・13 チャレンジサイクリング

11・10 第8回県民総合体育大会

サイクルOL大会

サイクリストの集い

12・14 常任理事会・実行委員会

1・1 SCAニュース 147号発行

2・8 第11回新春サイクリング

3・9 関東甲信越ブロック会議(関東甲信越

サイクリング協議会)

浦和(別所会館)

越谷

事務局

伊奈周辺

青少年会館

秩父リゾート

三重県・伊勢志摩

秩父リゾート

【協会表彰関係】

2・9 埼玉県サイクリング協会創立40周年

記念祝賀会

2・16 指導者研修会

3・16 サイクリング教室

浦和(商工会議所会館)

青少年会館

浦和

(予定)

(予定)

昭和51年度 日本レクリエーション協会

昭和57年度 全国レクリエーション協会実行委員会

昭和59年度 (財)日本サイクリング協会

昭和61年度 埼玉県体育協会

昭和63年度 埼玉博覧会実行委員会



JCA法人化10周年記念.. 第17回全国サイクリングラリー
事務局日誌抜粋

△昭和47年▽

6・3	第1回準備委員会	浦和市民会館
7・19	現地訪問・調査	秩父
8・25	打ち合わせ	秩父・三峰
9・6	打ち合わせ(予算案)	JCA
9・7	9・11 打ち合わせ(予算案)	県および県各課
9・11	打ち合わせ(記録・ガイド映画)	理事長宅
9・13	第1回実行委員会	食環センター
10・7	打ち合わせ(記録)	北本
10・10	打ち合わせ(全体)	浦和
10・11	打ち合わせ(現地)	秩父・荒川・大滝・三峰
10・18	第2回実行委員会	食環センター
10・18	事業部会(集団コース)	浦和
11・5	事業部会(エキスカーションコース)	大宮
11・8	第1回現地実行委員会	秩父
11・13	15・16 18・19 コース調査	秩父
11・21	29 打ち合わせ(写真コンテスト)	東京
11・22	23 コース調査	秩父
12・20	第3回実行委員会	浦和市民会館
△昭和48年▽		
1・17	事業部会	大宮
1・19	24 打ち合わせ(県警・記録・輸送)	秩父
1・29	第2回現地実行委員会	
1・31	打ち合わせ(県警・県・浦和市)	
2・5	8 打ち合わせ(記録・交通)	
2・18	事業部会	大宮
2・20	22 25・28 コースマップ作業	大宮
3・5	7・8 調査・打ち合わせ(道標・記録)	秩父
3・13	総務部会(ユニホーム・記念品)	浦和
3・25	事業部会(エキスカーションコース)	大宮
3・28	道標委員会	秩父

4・8	事業部会	大宮
4・9	10 総務部会	浦和
4・11	打ち合わせ	大滝中学
4・24	25 全コース調査(県警)	秩父
5・8	9 打ち合わせ(県警)	飯能・小川・児玉
5・8	16 21 28 打ち合わせ(県)	
5・12	総務部会	大宮
5・19	25 道標打ち合わせ	上尾・秩父
5・21	コース調査	秩父
6・1	14 17 コースマップ作業	上尾
6・6	11 打ち合わせ(県)	浦和
6・7	18 29 打ち合わせ	小栗野・秩父・大滝
6・7	19 打ち合わせ(記録)	北本
6・13	25 協賛依頼	上尾・蓮田・草加・所沢
6・16	17 打ち合わせ(記録)	秩父
6・20	打ち合わせ(記念品)	東京
7・2	10 打ち合わせ(道標)	上尾
7・3	7 11 21 協賛依頼	上尾・桶川・熊谷
7・3	打ち合わせ	東松山・小栗野・荒川・秩父・長瀬
7・4	17 打ち合わせ(県警)	
7・4	5 8 15 コースマップ作業	上尾
7・5	第4回現地実行委員会	秩父
7・7	総務部会	大宮
7・11	打ち合わせ(日赤)	
7・11	12 24 打ち合わせ(輸送)	西部・秩父・長瀬
7・14	全体会議	大宮
7・17	19 23 打ち合わせ	大滝・小栗野・秩父
7・22	現地研修会	長瀬・秩父・荒川・大滝・三峰
7・26	打ち合わせ	小川・荒川・秩父
7・27	全体会議	秩父
8・1	3 本部事務局移動(秩父) 設営準備	
8・4	5 第17回全国サイクリングラリー	浦和
8・25	大会反省会	

第1回インターナショナルチャレンジサイクリング

事務局日誌抜粋

4・23	SCA役員総会で事業承認	事務局
5・9	企画財政部地域整備推進課打合わせ	事務局
5・18	県関係諸団体協力要請	県庁
5・29	秩父リゾート地域整備推進協議会（推進協）総会にて事業承認	秩父リゾート
6・5	埼玉新聞取材	県警察本部
6・9	県警交通部長接見	会長事務所
6・15	埼玉県・秩父開発機構打合わせ	県庁
6・16	浜田会長へ状況報告	理事長宅
6・17	県林務課・林道使用OKの返事	八丁峠
6・21	小鹿野警察署長から八丁峠の使用は好ましくないとの連絡	八丁峠
6・27	八丁コース調査（推進協と）	旅館組合
7・1	関係警察署合同会議（八丁コースを中止し定峰コースとするように）	上尾
7・7	旅館業組合打合わせ	市長室
7・10	「そごう」打合わせ	新興センター
7・17	ブリジストン協賛依頼（断られる）	浦和
7・17	再度県警打合わせ（八丁コースは一度難色を示したが交通管理はやり易いので再考を）	東京
7・18	秩父市長へ協力要請	事務局
7・18	秩父農林新興センター（八丁峠使用願提出したが受理してもらえず）	浦和
7・18	再度コース検討（やはり定峰にて実施することを決定）	浦和
7・22	ポスター制作依頼	浦和
7・25	ロゴマーク決定	東京
7・28	ポスター・要項校正	事務局
7・29	推進協の依頼によりサブタイトルを「ツール・ド・秩父」にする	浦和
8・5	ポスター・要項発送	事務局
8・8	協会役員打ち合せ	協会
8・9	県から協同主催承諾	事務局
8・11	道路使用許可申請	県警
8・22	コース打合わせ	秩父リゾート
8・30	県警・関係警察コース調査	NHK浦和支局
9・9	協賛各社リストアップ	推進協
9・11	取材協力依頼	NHK浦和支局
9・14	県・推進協・協会3者会議	浦和
9・14	読売新聞に大会の記事、文化放送でスポーツ流れる	秩父
9・14	大会チラシくばり 秩父正丸／定峰、サイクリングコース	事務局
9・15	大会本部緊急体制に入る	事務局
9・17	再度埼玉新聞大会記事掲載	秩父
9・20	第1回実行委員会	事務局
9・26	協会実技役員会	三國コカコーラ
9・29	コカコーラ協賛了承	そごう
9・29	秩父市長挨拶（加藤JCA会長、浜田県会会長他）	事務局
10・2	記念品決定（ジャンパー）	事務局
10・3	日赤協力要請	事務局
10・4	第1回運営委員会	事務局
10・5	テレビ埼玉取材依頼	理事長宅
10・5	大会データ入力（パソコン処理のため）	東京
10・6	テレホンカード注文	事務局
10・10	最終チェック	浦和
10・16	大会安全管理報告（地域整備・県警）	秩父リゾート
10・21	第1回インターナショナルチャレンジサイクリング	浦和
11・22	協会実技役員反省会	秩父
11・23	第2回運営委員会（反省会）	秩父
11・27	第2回実行委員会（反省会）	浦和
12・25		秩父

協会加盟クラブ名簿 (1997.1)

No	クラブ名	代表者名	住 所	電 話
1	浦和サクリンクラブ	渡邊 廣次	浦和市常盤2-2-20	048-831-0304
2	上福岡サクリンクラブ	千葉 治	上福岡市上福岡5-9-23	0492-61-0052
3	川口サクリンクラブ	川村 雄豊	鳩ヶ谷市坂下町1-2-4	0482-81-1656
4	北本サクリンクラブ	小川 光男	北本市本宿7-88	0485-91-1105
5	九閑鳥クラブ	原田 知治	上尾市上野83-20	048-725-6021
6	グリーンサクリンクラブ	島影 恭彦	浦和市四谷2-11-18	048-862-8050
7	さきたまサクリンクラブ	飯塚 啓一	羽生市大字上新郷5 9 4 9	0485-61-1289
8	芝川サクリンクラブ	矢作 知久	川口市栄町1-14-11	0482-51-5365
9	しらこぼとサクリンクラブ	日比谷達夫	越谷市赤山町6-10-26	0489-62-4638
10	たじまサクリンクラブ	田島 稔弘	熊谷市市川2-72	0485-21-3072
11	秩父サクリンクラブ	新井 理幸	秩父市中町9-1	0494-23-1151
12	秩父サクリンクラブ	高橋 亘	秩父市中町17-1	0494-22-1357
13	トウスイクラブ	小林 鶴雄	坂戸市竹之内157-1	0492-81-6010
14	寄居サクリンクラブ	出浦 薫	花園町大字小前田1115-1	0485-84-1767
15	わかばサクリンクラブ	藤本 吉則	浦和市大谷口989-10	048-887-8420
16	土合サクリンクラブ	白石 昭夫	浦和市田島4-4-6	048-861-2209
17	東京ガスサクリンクラブ	小林 栄一	大宮市三橋2-128-7	048-641-5834
18	大宮グリーンサクリンクラブ	新井 仁	大宮市大門3-1大宮市役所下水道部維持管理課	048-768-6358
19	弥生倶楽部	渡邊 廣次	文京区本郷7-3-1 東大電気工学科内	03-3812-2111
20	ニコンサクリンクラブ	東福 宏明	熊谷市大字御稜威原201-9(株)ニコン内	0485-74-3770
21	防衛医大自転車同好会	福田 憲博	所沢市並木3-2 防衛医科大学校自転車同好会	0429-95-1221
22	三菱マテリアサクリンクラブ	河田 論	秩父郡横瀬町横瀬1019 三菱社宅11-13	0494-24-4785

協会役員名簿(1995-96)

No	役職	氏名	住所	自宅電話
1	顧問	相川 曹司	浦和市岸町7-2-1	048-822-2020
2	会長	浜田卓二郎	浦和市根岸3-28-7	048-862-3590
3	副会長	長沼 威	浦和市仲町2-6-15	048-824-5757
4	副会長	杉山 弘	浦和市常盤3-2-20	048-831-0304
5	理事長	渡邊 廣次	浦和市領家6-16-3-204	048-833-0156
6	副理事長	原田 知治	上尾市上野83-20	048-725-6021
7	"	川村 雄豊	鳩ヶ谷市坂下町1-2-4	0482-81-1656
8	"	新井 理幸	秩父市中町9-1	0494-23-1151
9	常任理事	近藤 繁男	羽生市下羽生999-1	0485-63-0018
10	"	日比谷達夫	越谷市赤山町6-10-26	0489-62-4638
11	"	小海 一夫	浦和市田島1-3-15	048-863-1702
12	"	中屋 伶	新座市北野2-11-6	048-482-3244
13	"	矢作 知久	川口市栄町1-14-11	0482-51-5365
14	"	山崎 辰雄	大宮市中川727-15	048-688-5280
15	"	戸田 信治	上福岡市上野台1-7-39-2	0492-63-8083
16	理事	藤本 吉則	浦和市大谷口989-10	048-887-8420
17	"	千葉 治	上福岡市上福岡5-9-23	0492-61-0052
18	"	田島 稔弘	熊谷市星川2-72	0485-21-3072
19	"	出浦 薫	花園町大字小前田1115-1	0485-84-1767
20	"	小川 光男	北本市本宿1-20	0485-91-2164
21	"	田中美千代	川口市本町2-11-22	0482-22-5020
22	"	北村 明子	大宮市東6-68-3	048-688-2770
23	"	新井 仁	蓮田市江ヶ崎798-1	048-768-6358
24	"	白石 昭夫	浦和市田島4-4-6	048-861-2209
25	"	東福 宏明	熊谷市大字御稜威ヶ原201-9	0485-74-3770
26	"	河田 諭	秩父市横瀬町横瀬1019 三菱社宅11-13	0494-24-4785
27	監事	堀内 幸夫	浦和市北浦和2-22-8	048-833-5499
28	"	内藤 武子	浦和市文蔵3-30-20-406	048-863-0261
29	事務局	西澤 美子	与野市上落合973-B-102	048-853-4817



S55年 第34回全国レクリエーション大会：石川



S48年 第17回全国サイクリングラリー 埼玉主管：秩父



S56年 第35回全国レクリエーション大会 埼玉主管：東松山
(第17回関東甲信越ブロックサイクリングラリー)



S49年 第10回関東甲信越ブロックサイクリングラリー
埼玉主管：浦和 駅前案内：北浦和駅



S50年 第17回関東甲信越ブロックサイクリングラリー
浜田会長と星野理事長



S49年 第10回関東甲信越ブロックサイクリングラリー
スタート前：秋ヶ瀬公園



S58年 元旦サイクリング：岩槻・野田



S50年 第17回関東甲信越ブロックサイクリングラリー
各県のど自慢披露



S59年 清水公園～宝珠花サイクリング



S57年 第4回SCAクラブラリー：名栗



S60年 第21回関東甲信越ブロックサイクリングラリー：青梅



S57年 第4回SCAクラブラリー



H1年 第1回インターナショナルチャレンジサイクリング：秩父リポート



S61年 創立30周年記念祝賀会：大宮



H1年 第1回インターナショナルチャレンジサイクリング：協会役員



S62年 第29回埼玉県サイクリングラリー：寄居



H2年 役員総会＝受賞式：青少年会館



S63年 第3回センチュリーラン：浦和



H3年 新春サイクリング=全員集合



H2年 自転車教室（乗れない人のサイクリング）：浦和



H3年 第27回関東甲信越サイクリングラリー：銚子



H2年 第2回インターナショナルチャレンジサイクリング：じばさんセンター



H4年 新春サイクリング：武州七福神



H3年 新春サイクリング=武蔵野七福神巡り



H4年 ファミリーサイクリング・ゲームサイクリング：浦和



H4年 秩父リゾートコースを走る（冬の陣）



H4年 第1回サイクルフェスタIN川口：川口オートレース場



H4年 第36回全国サイクリングラリー：浅間温泉



H4年 第7回センチュリーラン：浦和



H5年 サイクルオリエンテーリング大会：ケルブの部



H5年 第5回インターナショナルチャレンジサイクリング：秩父リゾート



H6年 新春サイクリング：亀戸天神



H5年 市民サイクリング：浦和



H6年 ふれあいタンデムサイクリング：渡良瀬（谷中湖）



H5年 サイクルオリエンテーリング大会：上尾



H7年 新春サイクリング：与野七福神



H6年 彩の国マウンテンバイク大会：秩父リゾート



H7年 全国縦断自転車リレー：東京



H6年 MTB講習会：グリーンヴィレジ



H7年 第10回センチュリーラン：北荒川運動公園



H6年 第16回SCAクラブラリー：六日町



H8年 第32回関東甲信越ブロックサイクリングラリー
：埼玉主管（秩父）



H8年 自転車教室（乗れない人のサイクリング）：浦和



H8年 第32回関東甲信越ブロックサイクリングラリー



H8年 世界選手権キャラバン隊を迎えて：浦和市役所



H8年 サイクリストの集い：青少年会館



H8年 国際キャンプ=ガールスカウトとサイクリング：秩父

埼玉県サイクリング協会四十年誌

発行人

会長 浜田卓二郎

編集担当

理事長 渡邊 廣次

発行日

副理事長 原田 知治
常任理事 戸田 信治
平成九年二月九日

編集後記

協会四十周年記念誌を発行することにしたが、引き受けてがなく結局私が進めたが原稿は集まらず、それならあゆみを充実させようとしたが、三十周年誌を作っていないので資料がなく、その入力は大変であった。幸い二十年誌迄の分は原田さんが引き受けてくれたので負担も減った。しかし残り二十年はしんどかった。暮から正月は毎日ワープロとの格闘。少しでも印刷費を浮かすためにワープロ編集したものを印刷してもらった。従って校正も戸田さんと私の一回校正のみ、もし誤字・脱字があったらお許し下さい。

かつてある人のことを走らないサイクリストなどと言って、いたが、実際協会の仕事を引き受けてやればやるほど、自由な時間がなくなり走りたくっても走れないそんな状態である。



埼玉県サイクリング協会
創立40周年記念事業実行委員会